

図書館だより

読むトコ



2020.11

「月ごとの花々」



11月の花 カトレア
花言葉 完成された魅力



12月の花 椿
花言葉 理想の愛



1月 福寿草
花言葉 希望

出典
『誕生日の花図鑑』
中居恵子/著
清水晶子/監修
ポプラ社

11月に入り、肌寒い日が増えました。体調を崩さないように手洗いうがい、マスクの着用に加えて、栄養のある食事と十分な睡眠を心がけましょう。

11月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12

12月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
29	30	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9

1月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

2021年の成人の日は
1月11日になります。

図書館は祝日開館ですが、施設都合のため、新所沢分館をはじめ、富岡分館・吾妻分館・柳瀬分館は午後1時より開館いたします。

新成人の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。



※赤い丸は祝日開館となります。

※12月28日(月)から
1月4日(月)まで年末年始
のため休館になります。

一般イベント日

児童イベント日

親子おはなし会

おはなし会

新所沢分館開館時間

火曜から金曜 9:30~21:00

土・日・祝日 9:30~17:00

休館日 毎週月曜日・月の最終水曜日

☆新所沢図書館でのイベント情報☆

こどものおはなし会など、イベントが再開しています。
参加につきましては、マスクまたはフェイスガードの着用を
お願いしています。

また、今後の状況によってはイベントの
更なる縮小・中止となる場合がございます。
詳しくはHP等でご確認ください。

図書館だより 読むトコ 第9巻3号

所沢市立所沢図書館 新所沢分館

発行日：2020年11月

〒359-1111所沢市緑町1-8-3

☎04-2929-1905

指定管理者 株式会社ヴィアックス

イベント報告

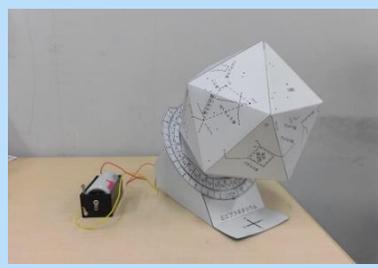
九月十八日に一般向けイベントとして『大人の工作会』を行いました。

今回は秋の星座にちなんで画用紙でプラネタリウムを作成しました。

イベントに参加するのが初めての方も多く、細かい作業もあり、大変でしたが、作る工程を楽しんでいただけました。

参加した方からは、今後も科学系・工作系のイベントを開催してほしいとの要望もありました。

次回のイベント開催は未定ですが、開催された際はぜひご参加ください。



図書館まつりのお知らせ



今年の新所沢分館図書館まつりは十一月十三日(金)から十一月十五日(日)の三日間になります。

『本の福袋』

1つの袋に図書館員が選んだ本が3冊入っています。何が入っているかは開けてみてもからの楽しみ。

3日間限定の『本の福袋』ぜひお手に取ってみてください。



『ブックリサイクル』
毎年恒例のブックリサイクル。
図書館で不要になった本・雑誌などのリサイクル(無料配布)を行います。

図書館員の本棚

〇〇の秋

『甘党ぶらぶら地図』

酒井順子 著
角川書店

四十七都道府県、日本のご当地甘味を現地で味わい綴った一冊。その場でしか味わえないものを厳選して紹介しているので、ぜひ足を運んで味わってみてください。

請求記号
B/596.65/廿

『美術館へ行こう』

伊東まさこ 著
新潮社

日本全国にある個性的で味わい深い小さな美術館を写真とともに紹介。美術館の周りの風景やおすめの喫茶店などの紹介もあり、忙しい日常にほっと一息つけるような安らぎの場所をつづった一冊。

請求記号
706.9/イ

『無敵の筋トレ食』

岡田隆 著
ポプラ社

人生最高のボディメイクを実現するため、筋トレの効果を最大限に引き出す無敵の食事術を紹介。無理なトレーニングではなく、食事と栄養で体を作る筋トレ食で理想の肉体を作り上げよう。

請求記号
780.19/オ

『月と六ペンス』

サマセット・モーム 著
新潮社

画家ポール・ゴーギャンをモデルに書かれた小説。絵を描くために安定した生活を捨て、絵にすべてをささげた男の激動の生涯が友人の視点で書かれています。サマセット・モームの代表作。

請求記号
B/933.7/モ

季節に触れる

十一月《新嘗祭》

『新嘗祭』は飛鳥時代からはじめ、まつたとされる収穫のお祭りです。天皇がその年にとれたお米やお酒などを神さまにおさなえし、収穫への感謝と、来年の豊作を祈るもので、いまでもおこなわれる皇室の行事です。

新嘗祭は1873年から祝祭日となり、1948年から「勤労感謝の日」という祝日となりました。勤労感謝の日は、職業につくすすべての人たちが働いたことで生み出されたものを祝い、みんなが感謝する日とされています。

『12か月の絵図鑑』

長谷川康男 監修
PHP研究所
2015年
38

十二月《討ち入りの日》

元禄一五年二月十四日、大石内蔵助良雄をはじめとする赤穂浪士四十七人は、本所にある吉良邸に押し入って、隠居していた上野介の首をとり、泉岳寺にある主君内匠頭の墓前に供えて、幕府大目付に出頭した。『赤穂浪士と吉良邸討入り』
谷口眞子 著 吉川弘文館 2013年
210.52/タ

赤穂事件は『忠臣蔵』として語り継がれ、今でも様々な作品が生み出されています。

一月《人日の節句》

一月七日は『人日の節句』。中国から伝来した、人間の一年について占い、七種の若菜を入れたお吸い物を食べる『人日』の風習が七草粥の起源。
やがてお吸い物はお粥となり、江戸幕府によって公式の節句として定められると七草粥の習慣が庶民にも広まりました。

『日本の365日をおもしろく』
本間美加子 著 東邦出版 2019年
386.1/ホ